


農業情報(令和8年5月)

報告内容	写真等	とき・ところ
		主体・対象(構成員数)
紙マルチ田植えを水稲有機栽培のほ場にて実施 水稲有機栽培に取り組む杉浦農園は、今年最初の紙マルチ田植えを実施しました。品種は「コシヒカリ」で、当日は天気が良く作業は順調に進みました。紙マルチ田植えは、専用の田植機を使用し紙マルチの敷設と苗の移植を同時に行います。紙マルチは分解されるまでの約40日間土壌表面を覆い続けるため、雑草の発生を大幅に減らすことができ、除草作業が不要となります。農業改良普及課は、紙マルチの雑草抑制効果を確認し、現地における技術確立を支援します。一方、紙マルチ田植機を製造していたメーカーが農業用機械事業からの撤退を表明しており、今後、紙マルチ栽培を継続・拡大できるか不透明な点が課題です。	 <p>紙マルチ田植えの様子</p>	令和8年5月7日 美浜町 紙マルチ取り組み農家 (知多の恵みグループ 杉浦農園)